



天草・海の冒険 サポーターズテキスト

制作・著作：天草海部



本テキストは 2019～2021 年度地球環境基金の助成を受け制作しました

天草・海の冒険サポーターズテキスト

目次

はじめに

天草・海の冒険サポーターズテキストの概要と構成

海洋教育とはー海洋教育の12分野ー

第1章 干潟の生き物を調査しよう！

「干潟の生き物調査① 定質調査と定量調査」

①プログラム編 (2020.3)

②資料集編 (2020.3)

(2022.3 羊角湾追加記載)

第2章 先端技術を活用して干潟を調査しよう！

「干潟の生き物調査② 先端技術×天草の海」

①プログラム編 (2020.3)

②資料集編 (2021.3 追加)

第3章 天草魚市場を見学しよう

「天草魚市場の見学」

①プログラム編 (2020.3)

②資料集編「天草以外の市場の様子」(2021.3 追加)

第4章 天草の海の歴史を学ぼう！

「棚底城争奪バトル ～島と海は我らが守る～」

①プログラム編 (2020.3)

②資料集編 (2020.3)

第5章 海で活動するための安全やマナー

②資料集編 (2021.3 追加)

「海の危険生物リスト」(2021.3 追加)

「夏休みの自由研究 in 天草海部」(2021.3 追加)

第6章 アマモ場の生物を調査しよう！「アマモ場の生物を水中ドローンで調べる」

①プログラム編 (2021.3 追加)

②資料集編 (2021.3 追加)

第7章 海ごみを調査しよう！「海ごみ・マイクロプラスチックを調べる」

①プログラム編 (2021.3 追加)

②資料集編 (2021.3 追加)

第8章 海の環境を調査しよう！「海の環境を調べる」

①プログラム編 (2022.3 追加)

②資料集編 (2022.3 追加)

第9章 天草の海の中をのぞいてみよう！「海部水族館」

①プログラム編 (2022.3 追加)

②資料集編 (2022.3 追加)

【付録】天草の海の施設を訪ねてみよう！

- ・天草・海施設探訪①「天草ビジターセンター」(2020.3)
- ・天草・海施設探訪②「熊本県水産研究センター」(2020.3)
- ・天草・海施設探訪 番外編「荒尾干潟水鳥・湿地センター」(2021.3 追加)

【動画教材】みんなに伝えたい海

- ・栖本干潟編 (2021.3 追加)
- ・御所浦アマモ編 (2021.3 追加)
- ・羊角湾干潟編 (2022.1 追加)

はじめに

天草は、周囲を東シナ海・有明海・八代海の3つの海に囲まれています。波の荒い外洋から穏やかな内湾まで多様な環境があり、天草には野生のミナミハンドウイルカが定住するなど多くの生きものが生息する豊かな海がはぐくまれています。

天草海部は、主に天草島内に住む子どもたちや親子を対象に、「天草の海でさまざまな体験をしてもらいたい、海の体験から学びを深めてもらいたい」という思いで、様々な海の活動を実施してきました。「天草の海と生きよう」をモットーに、魚市場や加工場の見学会、海岸の生物観察会やビーチクリーン、親子キャンプ、小・中学校への出前講座、他地域との交流事業などに取り組んでいます。2019年からは、①STEM教育に取り組む②SDGsに取り組む③海の教科書作りの3つの活動の柱を掲げ、活動をさらに進めてきました。

天草・海の冒険サポーターズテキストは、「子どもたちに知ってほしい、天草の海のこと」をコンセプトに、天草の海で体験できるフィールド体験プログラムを指導者向けにわかりやすく紹介しています。また、フィールド体験プログラムに関わる、背景や知識をわかりやすくまとめた指導者用資料と子ども向けのワークシートもあわせて制作しました。天草に住む子どもたちだけでなく、旅行などで天草を訪れる他地域の子どもたちや親子にも、天草での体験をより深い学びにつなげるために活用いただければと考えています。

このテキストを通して、豊かな自然環境が残る天草の海で、子どもたちが多くの体験をし、学びを深め、天草の海を誇りに思うきっかけにしてもらえたら。また一緒に海を楽しみ、天草の海を守っていかせたらと願っています。

2020年3月25日

天草海部 正角雅代・浪崎直子

天草・海の冒険サポーターズテキストの概要と構成

●本テキストの概要

天草・海の冒険サポーターズテキストは、「子どもたちに知ってほしい、天草の海のこと」をコンセプトに、天草の海で体験できるフィールド体験プログラムを指導者向けにわかりやすく紹介した教科書です。天草の海の魅力を伝えたい、天草の海の体験活動から学びを深めたいという指導者・ガイドの方にご活用いただければと考えています。

●本テキストの構成

本テキストは、以下の3部構成となっています。今後、随時体験プログラムを開発し新たに追加していく予定です。

①プログラム編

天草の海でどのようなフィールド体験ができるのか、ねらいや進め方、時間、場所、学びのポイント、指導のポイント、参考文献、関連動画などを紹介しています。

②資料集編

プログラムの背景となる知識をまとめた読み物として制作しました。大人の方や、小学校高学年以上の子どもたちの調べ学習用資料としての活用を想定しています。

③ワークシート

プログラムを実施する時に、主に子どもたち（参加者）に配布する資料としての活用を想定しています。

海洋教育とは－海洋教育の12分野－

●天草海部のフィールド体験プログラム

天草海部が実施するフィールド体験プログラムは、「海洋教育」のコンセプトを参考に開発・実施しています。本テキストでは、「21世紀の海洋教育に関するグランドデザイン（中学校）」に準拠して、海洋教育の12分野のどの分野であるかを併記しました。

●海洋教育の定義

海洋教育は、海洋政策研究財団（現在：笹川平和財団海洋政策研究所）が作成した「21世紀の海洋教育に関するグランドデザイン（小学校編、中学校編、高等学校編）」に整理されています。これによると、海洋教育は以下のように定義されています。

「人類は、海洋から多大なる恩恵を受けるとともに、海洋環境に少なからぬ影響を与えており、海洋と人類の共生は国民的な重要課題である。海洋教育は、海洋と人間の関係についての国民の理解を深めるとともに、海洋環境の保全を図りつつ国際的な理解に立った平和的かつ持続可能な海洋の開発と利用を可能にする知識、技能、思考力、判断力、表現力を有する人材の育成を目指すものである。この目的を達成するために、海洋教育は海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する学習を推進する。」

●小学校における海洋教育のコンセプト



小学校における海洋教育のコンセプトとして、①海に親しみ、②海を知る、③海を守る、④海を利用する、という4つの段階が示されています。

小学校における海洋教育のコンセプト概念図（「21世紀の海洋教育のグランドデザイン」に準拠して東京大学海洋教育促進研究センターが作成）

●海洋教育の 12 分野

中学校では、小学校の海洋教育コンセプトにある 4 つの段階から一步踏み込んで、より細分化された内容構成の視点を持つべきとして、「海洋教育の 12 分野」が示されています。



学校教育における海洋教育のコンセプトと 12 分野（「21 世紀の海洋教育のグランドデザイン（中学校偏）」に準拠して東京大学海洋教育促進研究センターが作成）

●参考図書

海洋政策研究財団（一般財団法人シップ・アント・ホーション財団）「21 世紀の海洋教育のグランドデザイン（小学校編）（中学校偏）」2016.

<https://sites.google.com/view/umitomo-kaiyo/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0/%E6%B5%B7%E6%B4%8B%E6%95%99%E8%82%B2%E3%81%A8%E3%81%AF>